



身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

2023.5.26

一人ひとりの自主活動 だれでも参加できます

活動：月2回(第二木曜日・第四金曜日) (雨天は小雨でも中止)
コース：帝京大学付属病院北詰・御成橋たもと → 金沢橋
問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail.co.jp

2023年7月までの石神井川観察は、6/8(木)、6/23(金)、7/13(木)、7/28(金)
9:30JR 社宅前街路の観察 10:00 帝京大学病院北側の御成橋たもとから再出発

<本号は特別4ページ建て> 早くもヒメジョオン満開



5/26の石神井川緑道観察。まだ5月なのに、野の花の世界では春はもう過ぎ去っていました。2週間前のレポートではハルジオンが盛りだったのですが、この日はすっかりヒメジョオンと入れ替わっていました。これはこれで美しいものですが・・・。

ナガミヒナゲシ

(下の右)は少しばかりの遅れ花を残して、実の状

態。この中におびただしい数の種子が出来ていて、それが飛び散ってあたり一面がこの種に占有されてしまうので問題になっている植物ですが、海底の砂から顔を出すアナゴみたいで



←こちらは野生化したニラの花と、その基に集まっている黒く丸い実。しっかり見ると、これも面白い形です。



咲いては枯れて、また生えて…、1年間で何回も世代交替する植物が目立つようになった



← 1年中咲いている**ノゲシ**ですが、一つの株が咲き続けているわけではありません。草は時期が来れば枯れるものです。左は冬の間から花を付けて、背丈を伸ばした古株の**ノゲシ**。もうすぐ枯れる気



配。これと入れ替わるように、新しい株が新鮮な葉を伸ばしていました(右)。花も小さく、すぐしぼんでしまうようですが、これまでは、1年1回、春に新しい株が出てきたのに、近年では古株が枯れてから新株に花を付ける間の期間がなくなっているのです。←**イヌムギ**も最近では1年間で3回も生え変わるようになりました。

種の保存のための**ハキダメギク**の格闘

帝京大学病院前の新しく整備された遊歩道ではソメイヨシノの植え込み

の下草は1本残らず刈り取られてしまいました。が、このところ、少しずつ野草が復活。

中でもすごいのは**ハキダメギク**。本葉がまだ数枚しか伸びていなくて、草高も5cmに満たない芽生えの状態なのに、きちんと花を咲かせています。十分に生長するまで待つて開花しようと思っても、また草刈りに遭って根こそぎにされたら絶滅してしまうので、とにかく早いうちに花を咲かせようという種の保存本能が働いているのかもしれない。



植物があって生きる昆虫、それも依存する相手は様々。 だから、多様な種が生きる草原が必要 緑道には庭園的な植物管理はふさわしくない！



つる性でいろいろな植物に絡みつくので嫌われ者の**ヤブガラシ**ですが、その花には甘い蜜があり昆虫がそれを吸って生きています。昆虫などの小動物にとって蜜を吸ったり葉を食べたり、あるいは身体を休める場所にしたり、植物は様々な役割を持っていて、しかも動物にとって好みの植物は多種多様。だから、緑道の植え込みの下に生えてくる野草も雑多なままに残していおかなければならないのです。

それなのに、地肌もろ出しの草刈り（右下）。「まちなかの自然」を保つということは、大名屋敷の庭園や花壇を管理するのとは違う野草管理の仕方をしなければならないことに、お役所はいつ気が付くのでしょうか？

それでも、少しだけ希望が持てるスポットあり



今では赤塚公園でもとても珍しい植物になってしまったオニノゲシが咲いてる場所がありました。5/26にはきれいさっぱり根元から



草刈りされてきました（左の上）。でも、ウマノアシガタが群生する場所だけは、群落を残して草刈りが行われていました（右の下）。

アカツメクサやシロツメクサの群落も残っていましたが（左の下）。公園事務所か草刈り業者さんの配慮だと思いますが、こういうのを見ると少し安心。





**そっくりな花が隣り合って
絡み合っていて咲いている緑道**

←クイズ

黄色の花が満開の左の1枚の写真の中に、**キンシバイ**と**ビヨウヤナギ**が写っています

どちらがどちら？

初登場の植物も咲きだしました

下の左から**マメグンバイナズナ**、**チチコグサ**（細長い葉の先に茶色の花）など、このところの石神井川緑道では初お目見えの野草が続いています。土壌の掘り返しや持ち込みなどが続いている結果だと思われます。絶滅危惧種というわけでもないけれど、今どきのまちなかではめったに見られなくなった野草たち。せっかく生えてきたのだから、こういう「自然」は大切に



したいもの。このようにして初めて「みどりのまちづくり」が出来上がるのではないのでしょうか？



秋の植物だって咲きだした石神井川緑道

←どう見ても、これ**コセンダングサ**。秋の草です。しかも、実までついていました。

